

連携 登録医の 紹介

地域を支える
医療・福祉施設を
ご紹介します

私がお話を聞きました！



新潟
臨港病院

事務部
事務部長 塚本 亮介

新潟
万代病院

事務部
事務部長 野村 典央

CLINIC No.
11

おがわ
内科・消化器内科
クリニック

内科・消化器内科

院長 小川 光平 先生



当院は「求められる医療」で地域の皆様に元気と笑顔をお届けし、患者様・ご家族様、そして地域の幸福を追求することを理念としています。

地域の皆様の「健康と安心をまもる、かかりつけクリニック」を目指し、向上心をもって柔軟に対応できる強いチームづくりに努めています。

患者様一人ひとりの生活背景を大切に、適切な治療や生活指導を通じて、健やかで安心できる毎日を支える身近な存在として真心を込めて診療いたします。



〒950-0871
新潟市東区山木戸4丁目1番44号
TEL: 025-282-5257
診療時間… 8:45~12:00
14:45~17:30
※水曜・土曜日は12:30まで
休 診 日… 水曜日午後、土曜日午後、
日曜・祝日

新潟臨港病院Instagram



CLINIC No.
12

ぷらっと本町
クリニック

内科・消化器内科

院長 朴 載廣 先生



ぷらっと本町クリニックは平成22年に開院し、「正確な診断・適切な治療・迅速な回答」を大切に、地域に根ざした診療を続けています。

当院では、消化器内科を中心に、上下部内視鏡による専門的な検査・治療に加え、生活習慣病にも幅広く対応しています。病院への紹介が必要な場合には、患者さまの意向を最優先に考え、安心して治療を受けられるよう、地域医療機関との連携体制を整えています。

また、CT・MRIなどの画像診断については、新潟万代病院と連携し、迅速かつ正確な結果を提供できるよう努めています。

「優しさ」をモットーに、不安を抱える方々に寄り添いながら、これからも地域の皆様の健康を支えてまいります。



〒951-8067
新潟市中央区本町通六番町1108-1
ぷらっと本町ビル4F
TEL: 025-222-1241
診療時間… 9:30 ~ 13:00
16:00 ~ 18:00
※水曜・土曜日は13:00まで
休 診 日… 水曜日(不定休)、
日曜・祝日

新潟万代病院エクス



社会医療法人新潟臨港保健会
広報誌「みなと」No.82

発行日/令和7年(2025年)10月24日
発行人/理事長 湊 泉
編 集/法人本部企画管理係(新潟臨港病院内)

【新潟臨港病院】
〒950-8725 新潟市東区越山町1丁目114番地3
https://ngt-rinkohc.jp/rinko/ TEL 025-274-5331 (代表)



【新潟万代病院】
〒950-8584 新潟市中央区八千代2丁目2-8
https://ngt-rinkohc.jp/bandai/ TEL 025-244-4700 (代表)



minato

2025.10 No. 82

新潟臨港病院・新潟万代病院 | 地域医療福祉連携機関向け広報誌『みなと』



Take Free (ご自由にお持ちください)

私たち新潟臨港保健会は、医療を通じて地域の皆様が安心して安全に暮らせる社会づくりに貢献します

社会医療法人 新潟臨港保健会



株式会社アイン北陸
所在地 : 〒950-1151 新潟市中央区湖南24-2
電話番号 : 025-288-0228 (代表)

オフィシャルウェブサイト www.ainj.co.jp



Google Play,
App Storeで

公式アプリ「いつでもアイン薬局」から、処方箋を送信できます！
今すぐアプリをダウンロード！

いつでもアイン薬局 を検索



Android OS
バージョン6.0以上



iOS
バージョン12.0以上

地域包括ケアシステム インタビュー特集

第5弾

共に学び、 これからを描く。

手術室看護師

西塔 耕平

Profile

新潟市出身。手術の器械出しや、手術中の患者さんの状態をチェックする「外回り」と呼ばれる業務を担当。入職理由は「学生時代の実習で、院内の清潔感から患者ケアが行き届いていると思ったから」。

在宅医療部 訪問看護師

阿部 咲季

Profile

魚沼市出身。病棟から在宅医療部に異動して3年目。退院した患者さんの自宅での療養生活のサポートやご家族の相談対応にあたる。「職場の雰囲気良さが自分に合っている」と感じたことが入職の決め手。

6階病棟 看護師

小松 沙紀

Profile

新潟市出身。7年間外科病棟に勤務したのち、慢性疾患の入院患者さんが多い現在の病棟へ。治療の援助や後輩指導を行う。「担当の先輩看護師が話しやすかった」というインターンシップをきっかけに入職。

6階病棟 看護師

渡辺 美樹

Profile

新潟市出身。3年間整形外科病棟に勤務したのち、現在の病棟へ。入院患者さんの治療の援助や療養上のお世話を。入職理由は「学生時代の実習で先輩のアドバイスを指導方法がとても良かったから」。

今回は、2017年に入職した新潟臨港病院の看護師4名が集合。部署や業務内容は異なっても、見つめる先は同じ——患者さん、そして地域医療の未来です。キャリアを重ねて9年目。今思うことや今後のビジョンを、飾らない言葉で語ってくれました。

——印象に残っている患者さんや、「看護師になってよかった」と思った瞬間を聞かせてください。

渡辺 どの患者さんも印象深いのですが、何人かの方から「感謝しています」という内容のお手紙を、入院中や退院の際にいただいたことがあります。こちらとしては仕事なので当たり前ののですが、うれしくて全部大切に取っております。

西塔 手術室では骨折などの外傷や悪性腫瘍の治療などを外科的に行うので、治療に直接関わっている実感が強いです。手術室に入る時は緊張していた患者さんが、無事に手術が終わると表情がやわらいだり、「ありがとうございました」という言葉をいただけたらすると、手術室看護師になってよかったと思います。

——患者さんやご家族との関わりから得た教訓・エピソードを聞かせてください。

阿部 私は病棟勤務から訪問看護に移ったことで、退院さ

れる患者さんの不安はもちろん、ご家族も同じように不安を抱えており、看護師としてその思いに深く寄り添うことの大切さを改めて実感しました。また、それが訪問看護の醍醐味でもあると思います。訪問の際に意識するのは、「五感」を使うこと。目で見ただけでなく、室内の匂いや雰囲気などにもアンテナを張り、患者さんやご家族に変化がないか感じ取るようにしています。

小松 私は大腸がんの終末期の患者さんと娘さんとの関わりが強く心に残っています。当時はコロナ禍で面会を厳しく制限していたのですが、娘さんと会えない期間に病状が進んでしまい、患者さんからネガティブな発言が聞かれるようになっていました。そこで「最期をお父さんとうとう過ごしたいか」を娘さんとじっくり話し合いました。娘さんの希望は「面会時だけちょっと起きてもらい、あとは鎮静で苦痛をやわらげて眠らせてあげたい」。その思いをご本人に伝え、師長さんや先生とも話し合いを重ねてコロナ禍での面会を実現しました。その時に感じたのは、家族だからこそ言えないことがあるということ。ご家族の思いを受け止め代弁者となり、患者さんとなつた役割が看護師にあることを学びました。

——後輩指導も大切な業務になっていると思います。後輩の成長を感じた出来事がありますか？

西塔 手術室で教えていた後輩が、1年もするとすごく頼りがいがある仕事仲間になったり、僕が気づかないことに気づいてくれたり、助けてくれたりして頼もしく感じます。その後輩が成長し、さらに新人指導をしているのを見ると感慨深いですね。

小松 入ってくる新人さんは十人十色。世代ごとに特徴や価値観の違いはあるけれど、まずはそれを受け入れる姿勢を心がけています。必ず伝えるのは「どんなに忙しい時でも、患者さんやご家族の訴えに耳を傾けてほしい」ということ。特に夜勤は人数が少なくてバタバタするんですけど、やっぱりそのタイミングでしか言えないこともある。そういう時こそ、少し立ち止まって耳を傾けてほしいと伝えています。その姿勢が見えるようになり、「患者さんがこう言ってました、どうしよう」と相談してくれることも。患者さんの思いを丁寧に引き出

してあげられている後輩の成長を感じます。

——中堅として、自分自身の成長や変化はどのように感じていますか？

阿部 病棟では中堅のポジションでしたが、在宅医療部に移って一番若手になりました。改めて学ぶ姿勢で先輩たちに聞いたり、患者さんに積極的に声をかけて寄り添う関わりを大切にしています。病棟での経験や学びも、訪問看護に生かしていきたいです。

渡辺 正直、9年目と思えないぐらい時間の経過を早く感じます。まだまだ学ぶことがあると思う一方で、後輩から質問されたり、逆に先輩から「これってどうだったっけ」と声をかけられたりすると、それなりにキャリアを重ねてきたことを実感します。病棟業務でもリーダーを務めたり、看護記録の監査などをする業務委員会のメンバーとしても活動しています。後輩に対しては「1回で覚えようとしなくていい。いろんな人に、何度でも聞いていいんだよ」と伝えています。

—— 10年目を迎えるにあたり「こんな看護師になりたい」という理想像を教えてください。また、地域の方へのメッセージをお願いします。

西塔 より質の高い看護を提供し、手術室看護のスペシャリストを目指して頑張っていきたいです。手術室のスタッフ一人ひとりが、患者さんが安心して手術を受けられるよう万全の体制を整えていますので、気になることがあればいつでも声をかけていただきたいと思います。

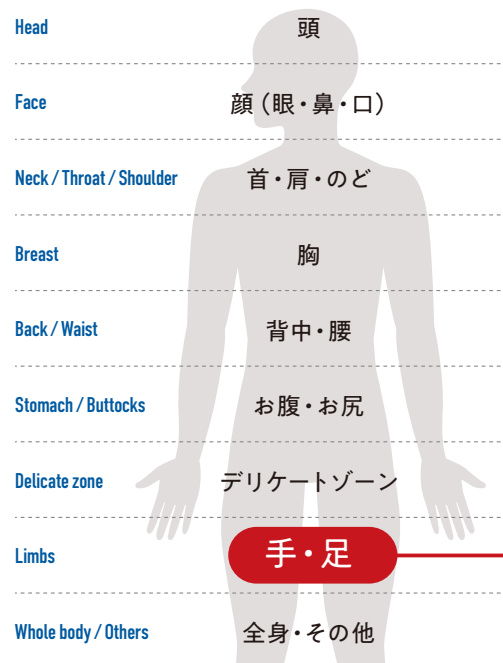
阿部 目指すのは「この人がいてくれて良かった」と思ってもらえる看護師です。病院医療と在宅医療をつなぎ、患者さんが安心してなんでも相談できる、あたたかい看護師が私の理想です。

小松 患者さんがその人らしく過ごせるよう、お一人おひとりの人生にじっくり向き合い理解できる看護師になりたいと思っています。新潟臨港病院は地域に密着した病院です。患者さんや地域の方と近い関係性でコミュニケーションを密に取り、より良い医療と看護を提供していきたいと思っています。

渡辺 看護師としての初心を忘れず、でも培ってきた経験や知識は生かして後輩にも丁寧に指導できる看護師を目指しています。患者さんが病院に来る不安が和らぐよう、心配なことや気になることは何でも聞いていただきたいと思います。

Dr's memo

【ドクターズメモ】



へんけいせいこかんせつしょう 変形性股関節症 (Hip Osteoarthritis)



新潟臨港病院、新潟万代病院のホームページには『症状から診療科を選ぶ』ことのできる専用ページがあります。各診療科の特徴、外来診療予定表、医師紹介が掲載されてますのでぜひご覧ください。

新潟
臨港病院



新潟
万代病院



変形性股関節症 (Hip OA) とは？

股関節の特徴は？

大腿骨の頭部と骨盤側の受け皿である寛骨臼に収まる形で構成される「球関節」です。

人体の中の関節の多くは、曲げ伸ばしの動きしかできませんが、球関節はあらゆる方向に自由に動かすことができます。肩関節も球関節の1つですが、体重を支える球関節は股関節のみで、歩行において最も重要な関節です。人類が4足歩行から2足歩行へと進化した際、股関節は最も影響を受けました。2足歩行では、股関節が伸びた状態で使われるため、前方への安定性が低く不安定なため、他の関節と比べて若年期から変形が起りやすいのが特徴です。

生後間もなく発症する「発育性股関節形成不全」(股関節脱臼)や、10代で寛骨臼の成長が不十分(骨頭を支える部分が少ない)な「寛骨臼(白蓋)形成不全」は、10代から股関節に痛みを感じることがあり、これほど若いうちから骨の成長の影響を受ける関節は股関節だけです。

この寛骨臼形成不全は、軟骨がすり減り

「変形性股関節症」の原因となります。変形性股関節症の約7～8割はこの形成不全が関係しており、早い方は30～40代より痛みが出て、軟骨がすり減り変形が始まります。そして、女性に圧倒的に多く見られることも特徴の一つです。

変形性股関節症の症状って？

変形性股関節症の主な症状は、「痛み」と「関節を動かす範囲が狭くなる」ことです。初期段階では、動き始めの際に痛みがでることが多く、変形が進行すると、歩行時にも痛みが現れ、さらに進行すると夜間に痛みで目が覚めるなど、日常生活に大きな影響が出てきます。

痛みの原因は、「骨の変形」によるものと、「股関節を動かす筋肉の障害」があります。

股関節の動きに関与する筋肉は22個もあり、どの筋肉に障害が起きても股関節に痛みを生じるため、痛みの部位は多岐にわたります。

また、関節を動かす範囲が狭くなる原

因としては、骨の変形だけではなく、股関節周囲の筋肉や靭帯が硬くなることも挙げられ、動きが制限されることで筋力が低下し、次第に歩行が困難になることもあります。

変形性股関節症の治療方法は？

「保存療法」と「手術療法」があります。保存療法で最も大事なものは、関節の動きを保つこと、つまりストレッチです。

例えば、胡坐がかけない、正座ができない、脚を組めないといった動作が困難になってきたら要注意です。股関節周囲の筋肉が硬くなると、腰や膝にも負担がかかり、最終的に、「変形性腰椎症」や「変形性膝関節症」へと進行する可能性があります。これらの状態になると元の状態に戻すのは難しくなります。

ストレッチの際に最も重要なことは呼吸です。力んだ状態でストレッチしても効果が得られません。大きく、ゆっくりとした呼吸を意識しながら行ってください。

股関節を専門としております。
患者さんの気持ちに寄り添い、
治療いたします。

新潟万代病院 院長／関節再建センター長

宮坂 大

みやさか だい

股関節外科

所属学会・資格・認定等

日本整形外科学会認定専門医

手術療法では、 以下の手術を行います。

●寛骨臼(白蓋)形成不全

寛骨臼が浅く骨頭がうまく覆われていないので、体重を支える骨を増やすため、骨盤の一部を切って回転させ、骨頭をより広く覆うように調整し荷重の分散を図る、寛骨臼回転骨切り術を行います。対象は、通常10歳代から50歳代までの比較的若い世代です。痛みの軽減と、変形の進行を少しでも遅らせることを目的に手術します。

●変形性股関節症

X線検査などで、軟骨のすり減りや骨頭の変形が確認され、内服やリハビリテーションでも症状が改善しない場合には、人工股関節置換術を考えます。ただし、受診時点で関節の動きが既に悪い場合や変形の程度が強い場合には、初期段階から手術を勧めることもあります。

いずれの手術もナビゲーションや手術支援ロボットを用いて、より安全かつ正確に手術を行います。

ナビゲーションや 手術支援ロボットが普及した背景 ～患者さんのメリット～

人工股関節は主に骨盤側に挿入する「カップ」と大腿骨に挿入する「ステム」の2つの手術材料を使用します。通常、患者さんに適した2つの手術材料のサイズを二次元のX線画像だけで決定することは困難なため、CT画像を用いて、より正確なサイズを手術前に決定しておくことで、正確な手術計画が行えます。

ナビゲーションとロボットは、CT画像をもとに作成した三次元データを計画通りに挿入するための支援器械です。ロボットは自動で勝手に動くイメージがありますが、あくまでもロボットを動かすのは医師です。人間がどんなに匠な技術を持っていたとしても、ナビゲーションやロボットのよう1度1mmの精度で挿入することは難しく、この支援機器を用いてカップやステムを正確に挿入することにより、手術における合併症を減らすことができるなど、患者さんにとっては多くのメリットがあります。

手術後の注意点 予防・早期発見のために

定期健診には必ずきていただきます。症状が全くなくてもX線上で問題が進行している可能性もありますので、術後1か月・3か月・6か月・1年の定期健診が終了した後も、少なくとも1年に1回の受診をお勧めいたします。

また、日常生活では、特に転倒に注意が必要です。転倒によって人工股関節の脱臼や周囲で骨折が起こる可能性があります。また、再手術が必要になることもあります。

現在の人工股関節の寿命は約30年といわれていますが、人工股関節を支えているのは患者さん自身の骨です。骨は加齢とともにもろくなっていくため、骨粗しょう症の治療を適切なタイミングで開始することで人工股関節の安定性を長く保つことができます。

最後に 人生100年の時代、一生自分の足で歩いて生活するために、股関節の痛みにも注意を払いましょう！

新任医師のご紹介 New members!



さかがみ あつし
坂上 敦
[新潟臨港病院 整形外科]

最新の知識と技術を取り入れながら、一人一人にあった最適な治療を提供できるよう努めてまいります。万代病院とも連携し、効率的で安心できる治療を実現いたします。



かわの けんじ
河野 賢人
[新潟臨港病院 整形外科]

2025年10月より勤務させていただきます。整形外科として、地域の皆様のお役に立てるよう、努めてまいります。よろしくお願い致します。



てい よしあき
鄭 賢皓
[新潟万代病院 整形外科]

2024年10月から2025年9月までの1年間、新潟臨港病院で勤務させていただきました。この度、2025年10月から新潟万代病院へ転勤となりましたが、今までどおり、今まで以上に患者様に真摯に向き合って医療を提供させていただこうと思います。何卒よろしくお願いいたします。

10/4(土) NIC健康セミナー 阿賀町開催で講演しました

【第1部】阿賀町の医療を考える

～私たちが関わった12年、そしてこれから～
社会医療法人 新潟臨港保健会 理事長 湊泉

【第2部】フレイル予防のストレッチ体操

新潟臨港病院 リハビリテーション科 理学療法士
科長中村暢之・係長白井信行

■主催／NIC新潟日報販売店グループ

■後援／阿賀町・社会医療法人 新潟臨港保健会

■協力／株式会社メディレポ
(健康相談会：株式会社アイン北陸)



新潟日报社
健康プロジェクトの
特設サイトから
ご覧いただけます。

ご家族皆様で楽しめる 「第3回 新潟臨港病院祭」を 11月9日(日)に開催します!

メインイベントは、お子さまが医療の現場を体験できる「お仕事体験」。さらに、腎臓や呼吸器に関する講演、オペラ歌手らが出演する音楽祭など、大人も楽しめるプログラムが満載です。

そのほか、パトカー・消防車の展示、人気のキッチンカーの出店、お子さま向けのプレイランドもご用意。食べて、学んで、遊べる一日を、ぜひご満喫ください。



病院のお仕事をウォッチング!! 職場紹介シリーズ vol.4



新潟臨港病院 薬剤部



私たち新潟臨港病院薬剤部は、患者様に安全で安心な薬物療法を提供するために日々取り組んでいます。入院中の患者様にはお薬の準備や管理はもちろん、効果や副作用の確認を行い、最適な治療につながるようサポートしています。各病棟には薬剤師が常駐し、患者様に寄り添いながらお薬に関する疑問や不安に応え、医師や看護師、リハビリスタッフなどと連携して治療を支えています。

また、外来ではがん化学療法やアルツハイマー型認知症治療薬など、専門性の高い薬の調製を行っています。

薬剤部はチーム医療の一員として、患者様一人ひとりに合った薬物療法を提供し、地域の皆様の健康を支えてまいります。



新潟万代病院 薬剤部



新潟万代病院薬剤部は「医療の安心と信頼を支える医薬品適正使用の実践を行う。医薬品の適正使用、情報管理、副作用マネジメント等に主体的に関わるように取り組んでいく。」を基本方針とし、医薬品の適正使用に努めています。

入院患者様には、入院時薬歴調査による患者様の安全確保、入院中は定期訪問による、効果や副作用の確認、ならびに質問への対応などを行っています。また、外来患者様には整形外科の手術予定患者様の持参薬を確認し、休薬が必要な薬や手術に影響あるサプリメントの指摘なども行っています。

当薬剤部は薬剤師2名と院内で最も少数の部署ですが、少ない人員でも業務の質を落とすことの無いよう日々業務の効率化に取り組んでいます。

